

令和4年度 教育委員会事務局長「政策宣言」中間報告

教育委員会事務局長 久々江 豊

○ 令和4年度重要事業

事業名	持続可能な部活動、学校の働き方改革の推進
目標	令和5年度からの休日の部活動の段階的な地域移行に向け、運動部活動におけるモデル事業を実施し、活動場所や指導者の確保などの課題を整理し、円滑に地域移行できるよう取組を進めるとともに、教員の部活動従事に伴う多忙化を解消し、学校の働き方改革の推進に努めます。
進捗状況	9月からモデル事業として3競技で休日の地域移行（バスケットボール、剣道、柔道）を開始しました。
今後の対応	モデル事業での成果と課題を検証するとともに、スポーツや文化芸術の関係諸団体と対話を重ねながら、休日の学校部活動の円滑な地域移行に取り組みます。

事業名	心身ともに健やかな子どもの育成
目標	本市では、家族とのふれあいや団らんが子どもの健全な成長に繋がるものとして毎月25日を家族との時間を大切にする「あったか家族の日」としており、市内企業や各種団体と連携し「あったか家族」の普及啓発に努めます。 また、不安を抱えている児童生徒や家庭への支援を推進するため、引き続き家庭教育専門支援員等による教育相談体制の充実に努めます。
進捗状況	射水市 LINE 公式アカウントを利用した「あったか家族応援割引クーポン」の配信など、市内企業や団体と協力し、「あったか家族」の普及啓発活動を展開しました。 また、家庭教育専門支援員を2名配置し、学校やスクールソーシャルワーカー、関係機関等と連携しながら、不安を抱えている児童生徒の支援を行いました。
今後の対応	市内企業や団体と連携協力しながら、「あったか家族応援割引クーポン」の利用者数を伸ばすなど、家族との団らんを促進する企画を実施することで、「あったか家族」の更なる普及を図ります。 また、引き続き、家庭教育支援員を配置し、不安を抱えている児童生徒の家庭支援の充実に努めます。

事業名	文化財の保存とフットボールセンターの活用
目 標	<p>国重要無形民俗文化財である放生津八幡宮祭曳山・築山行事の保存活用計画の作成に着手するとともに、文化庁の地域文化財総合活用推進事業を活用し、稚児舞や海老江・大門曳山行事の保存継承のための支援を行います。</p> <p>また、4月にオープンしたオリバースポーツフィールド射水（フットボールセンター）の利用促進に努めるとともに、周辺の賑わい創出に努めます。</p>
進捗状況	<p>国指定「放生津八幡宮祭曳山・築山行事」保存活用計画については、文化財保護団体と連携して作成に取り組んでおります。文化庁の地域文化財総合活用推進事業を活用した用具等整備については、令和5年3月までの完成に向け、文化財保護団体への指導・助言等の支援を行っています。</p> <p>オリバースポーツフィールド射水については、施設のPRや利用促進に努め、オープンから9月末までの利用者数が約35,000人となりました。</p>
今後の対応	<p>国指定「放生津八幡宮祭曳山・築山行事」保存活用計画の令和5年度策定に向けて、引き続き進めます。</p> <p>オリバースポーツフィールド射水については、引き続き、利用促進に努めるとともに、11月19日には施設運営委託事業者と連携したイベント「オリスポフェス2022」を開催し、賑わい創出を図ります。</p>